

【参考資料 1】 これまでの経緯

一般道

素案箇所
39箇所

道路利用者等の実感による確認
現地の状況等による確認

39箇所

追加意見
114箇所

最新データによる確認
現地の状況等による確認

39箇所

1エリア

(7区間(24箇所)、2箇所)

11区間

(36箇所)

16箇所

高速道路

候補箇所
10区間

追加意見
51区間

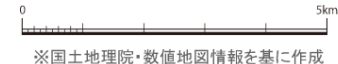
最新データによる確認
現地の状況等による確認
道路管理者等からの意見

3区間

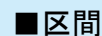
13区間※

※徳島地区は2区間

主要渋滞箇所



2



区間名		箇所名	
14	徳島小松島線(勝浦浜橋付近) 昭和IC～江田	昭和IC	徳島市
		新浜町一丁目	徳島市
		新浜本町二丁目付近	徳島市
		勝浦浜橋南	徳島市
		論田町本浦	徳島市
		大原町中須	徳島市
		大原町千代ヶ丸	徳島市
		江田	小松島市
15	一般国道55号・宮倉徳島線(勝浦川橋付近) 勝占町下敷地～日開野日開野町	勝占町下敷地	徳島市
		勝浦川橋北詰付近	小松島市
		日開野日開野町	小松島市
16	一般国道55号(那賀川橋付近) 那賀川橋北詰～南島	那賀川橋北詰	阿南市
		南島	阿南市
17	羽ノ浦福井線(阿南市上中町付近) 上中町～西方橋南詰	上中町	阿南市
		西方橋南詰	阿南市
18	一般国道55号(那賀川大橋付近) 那賀川大橋北詰～辰巳工業団地入口	那賀川大橋北詰	阿南市
		辰巳工業団地入口	阿南市

■ 箇所

箇所名		
⑪	大林北	小松島
⑫	宮倉	阿南市
⑬	勝浦町沼江	勝浦町
⑭	玉塚	阿南市
⑮	津乃峰町東分	阿南市
⑯	橋西	阿南市

※国土地理院・数値地図情報を基に作成

凡 例

● 箇所

区間

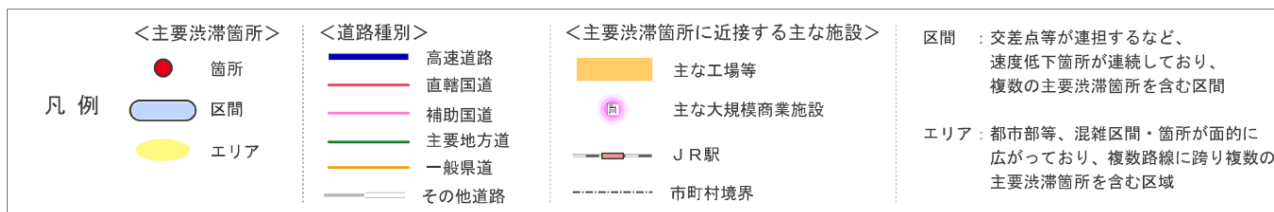
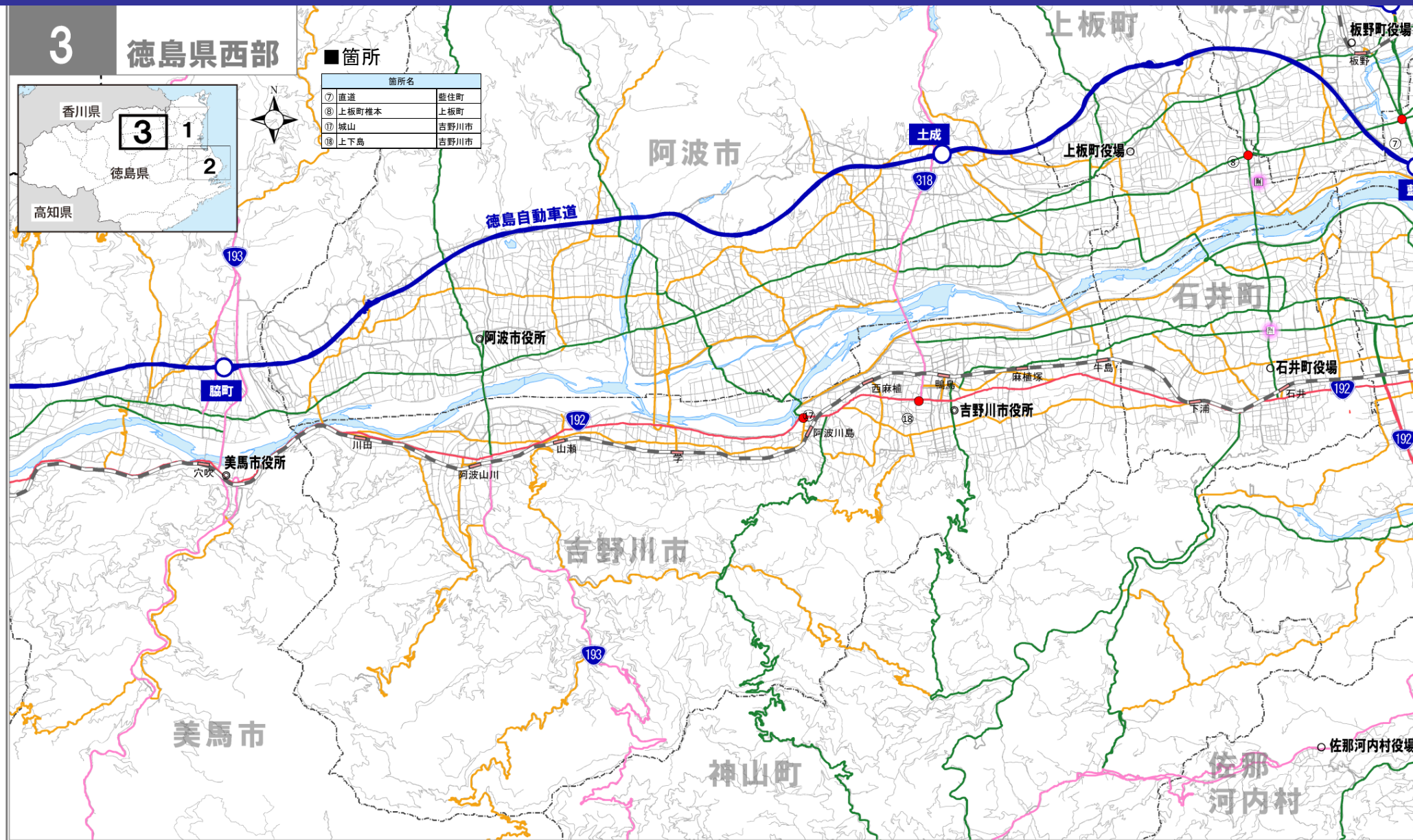
● エリア

 高速道路
 直轄国道
 補助国道
 主要地方
 一般県道
 その他道路

 主な工場等
 主な大規模
 J R 駅
 市町村境界

区間 : 交差点等が連担するなど、
速度低下箇所が連続しており、
複数の主要渋滞箇所を含む区間

エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に
広がっており、複数路線に跨り複数の
主要渋滞箇所を含む区域

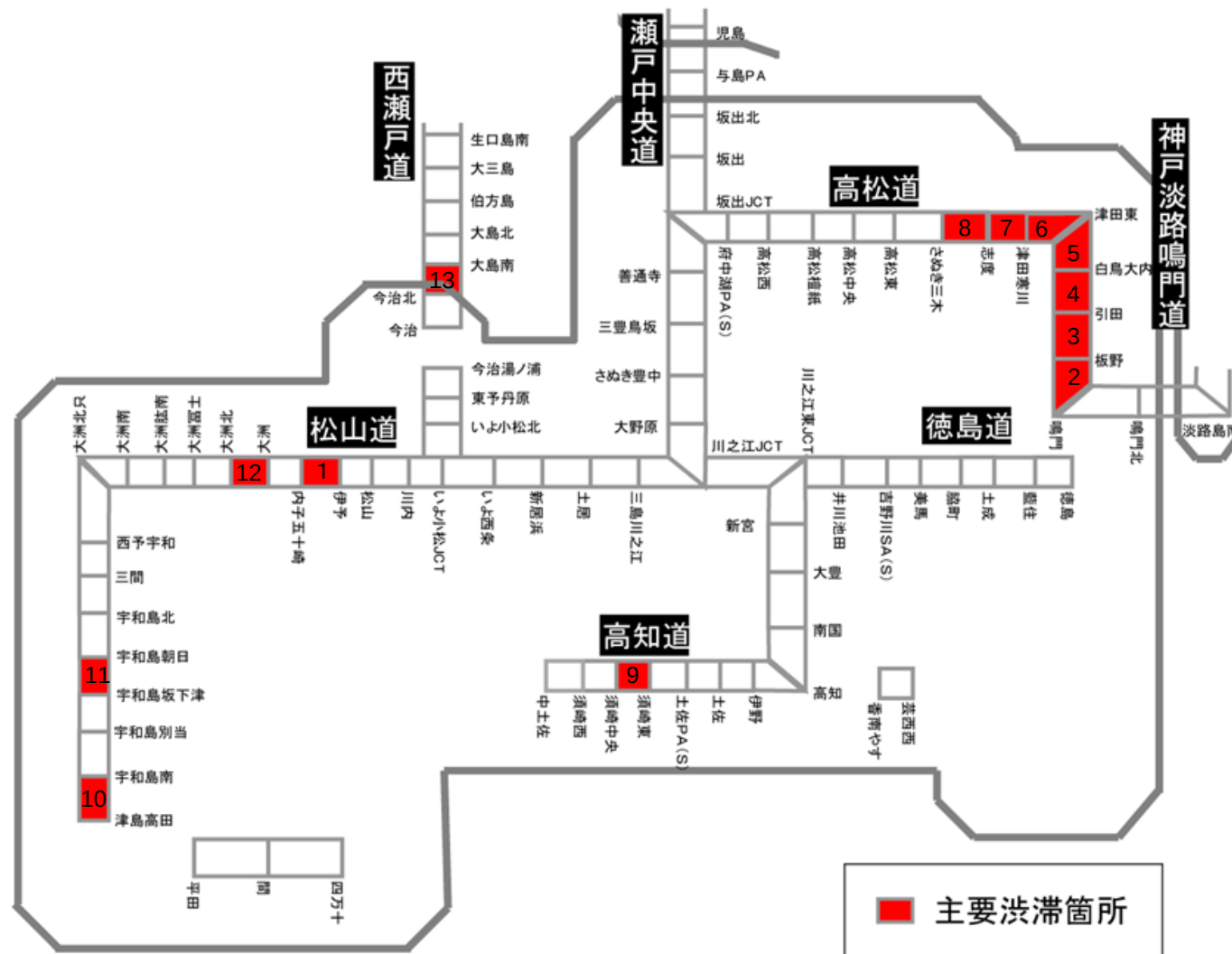


0 5km
※国土地理院・数値地図情報を基に作成

主要渋滞箇所リスト

主要渋滞箇所位置図

路線名		区間名
1	四国縦貫自動車道	伊予～内子五十崎
2	四国横断自動車道	鳴門～板野
3	四国横断自動車道	板野～引田
4	四国横断自動車道	引田～白鳥大内
5	四国横断自動車道	白鳥大内～津田東
6	四国横断自動車道	津田東～津田寒川
7	四国横断自動車道	津田寒川～志度
8	四国横断自動車道	志度～さぬき三木
9	須崎道路	須崎東～須崎中央
10	宇和島道路	津島高田～宇和島南
11	宇和島道路	宇和島坂下津～宇和島朝日
12	大洲道路	大洲北～大洲
13	西瀬戸自動車道	今治北～大島南



※注: 上下線のいずれかの方向でも渋滞している区間を表しています。

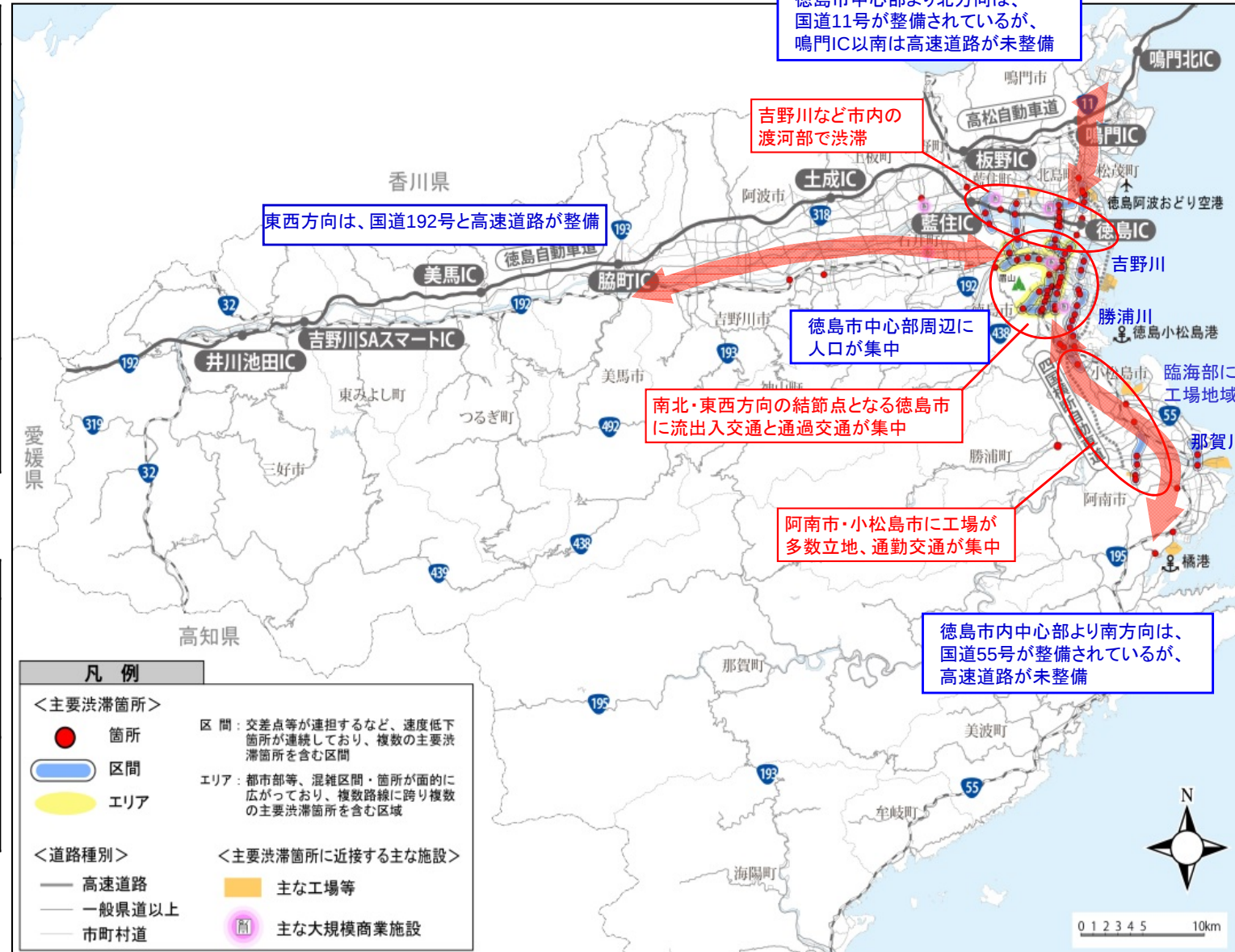
1. 徳島県の概況

	概要
徳島県市街地の状況	- 面積4千km²の県土を有し、可住地面積は約25%であり、主として、徳島市、鳴門市、北島町、小松島市、阿南市、吉野川市に人口集中地区が存在している。 - 南北方向では、国道11号、国道55号が整備されているが、高速道路は鳴門IC以南が整備されていない。東西方向では、国道192号と高速道路である徳島自動車道が整備されている。これらの結節点となる徳島市では徳島市内の流出入交通と通過交通が集中する。 - 阿南市や小松島市には多くの工場が立地し、通勤交通が集中する。
道路交通状況	- 吉野川や勝浦川、那賀川などの渡河部がボトルネックとなり、速度低下や渋滞が発生している。 - 主要渋滞箇所は徳島市に集中しており、その他では、阿南市や小松島市に多く存在している。

2. 方向性

	概要
総合対策等	「いけるよ！徳島・行動計画(H25.3:徳島県)」の中期プラン、長期ビジョンにあるパークアンドライドの推進やマイカー通勤の公共交通への転換促進などの取組により、ソフト対策としての交通渋滞軽減を進める。
道路整備	道路交通の円滑化を図るため、バイパスや環状道路の整備によるネットワークの充実や現道拡幅、交差点改良などのボトルネック(円滑な流動を妨げる隘路となる部分)対策を計画的に進める。

3. 徳島県全体の交通ネットワークイメージ



渋滞対策の基本方針

■徳島市内に集中する流出入交通と通過交通を分散させるため、バイパスや環状道路の整備による交通容量の拡大を図り、ソフト対策による渋滞軽減への取り組みを推進するとともに、渋滞対策協議会で更なる対策検討および対策効果を検証してまいります。

これまでの経緯 [徳島市中心部周辺エリアにおける渋滞対策の基本方針]

H25年度

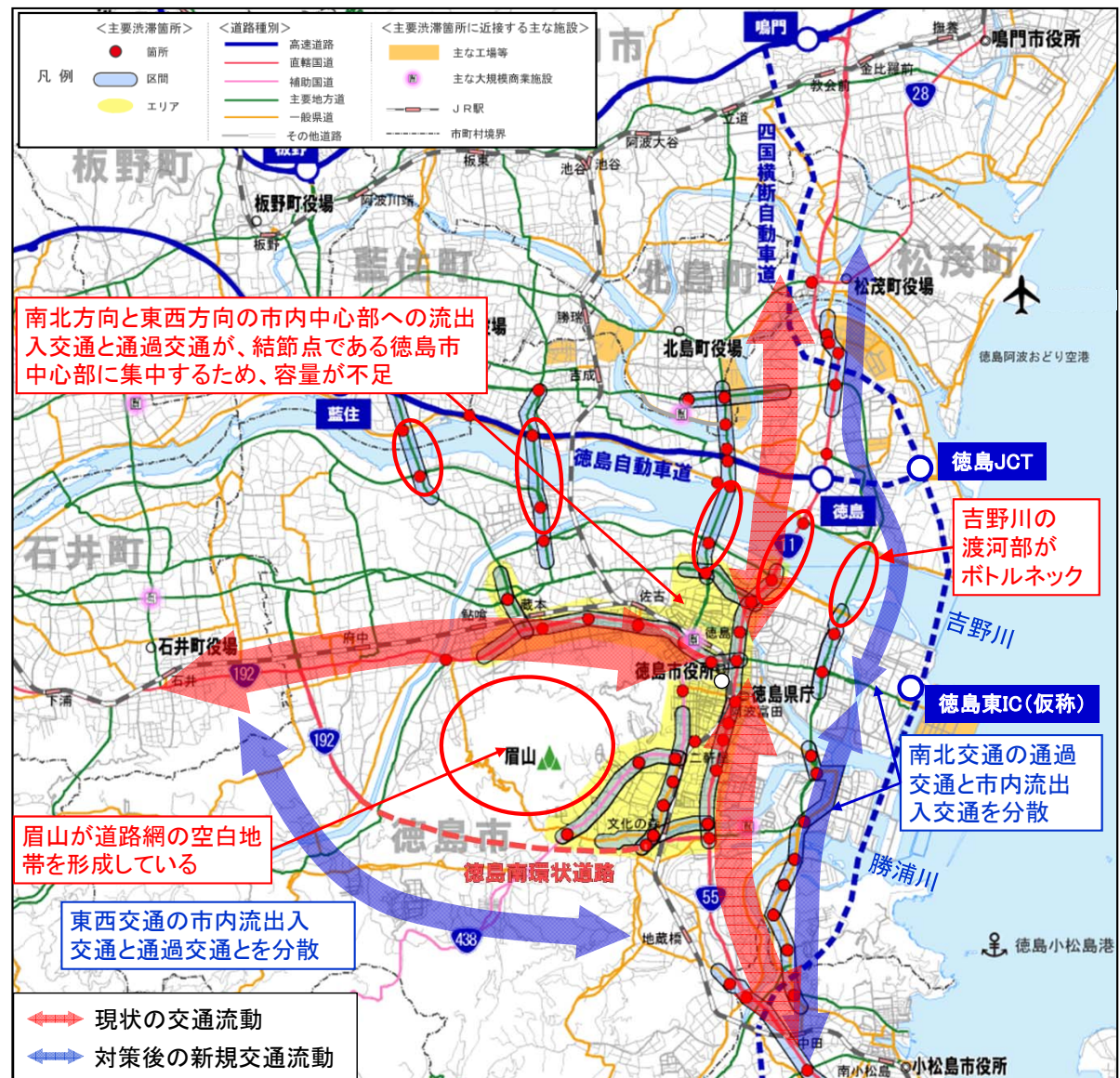
1. 徳島市中心部周辺エリアの概況

	概要
徳島市中心部の状況	・徳島市は県都として都市機能が集積している。 ・市内中心部を流れる吉野川が南北方向の交通を分断している。 ・市内中心部にある眉山が道路網の空白地帯を形成している。
道路交通状況	・南北方向は、吉野川に架かる5橋（阿波しらさぎ大橋、吉野川大橋、吉野川橋、四国三郎橋、名田橋）で速度低下や渋滞が発生しており、吉野川の渡河部がボトルネックとなっている。 ・南北方向と東西方向の市内中心部への流出入交通と通過交通が、結節点である徳島市中心部に集中するため、容量が不足し、速度低下や渋滞が発生している。

2. 現在の対策等

	概要
総合対策等	・「徳島市都市計画マスタープラン（H24.3：徳島市）」に基づき、市街地周辺の道路網の形成を進め、公共交通や自転車等の利用促進やバス網の維持・確保を検討する。
道路整備	・吉野川渡河部をボトルネックとする交通集中を分散する施策（四国横断自動車道（徳島東～鳴門）） ・南北方向の通過交通と市内への流入交通を分散し、容量を確保する施策（四国横断自動車道（阿南～鳴門）、徳島東環状線） ・東西方向の通過交通と市内への流入交通を分散し、容量を確保する施策（徳島南環状道路）
ソフト施策	・市内への流入交通を公共交通に転換させる施策（パーク&バスライド及びパーク&レールライド、公共交通優先システム（PTPS）） ・通勤時間帯の交通を分散する施策（時差出勤）

3. 徳島市中心部周辺エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



渋滞対策の基本方針

■「徳島市都市計画マスタープラン」に基づく施策を推進し、四国横断自動車道（阿南～鳴門）及び徳島南環状道路、徳島東環状線の整備を進め、パーク&バスライドやパーク&レールライド、時差出勤を継続実施するとともに、渋滞対策協議会で更なる対策検討および対策効果を検証してまいります。

- 最新の交通データ等を基に特定された主要渋滞箇所を踏まえ、渋滞対策を検討・実施
- 毎年度、以下のマネジメントサイクルにより主要渋滞箇所をモニタリングの上、随時見直し

最新交通データによる渋滞状況検証
…プローブデータの収集・分析等

地域の交通状況に対する専門的見地からの検証
…データの精査・現地確認等の実施



徳島地区渋滞対策協議会における議論

渋滞協主体：道路管理者等（国、地方公共団体、高速道路株式会社）、徳島県警、トラック・バス・タクシー事業者、日本自動車連盟 等

見直しが必要な場合

定期的な地域の声の反映
（パブリックコメントの実施等）

地域の主要渋滞箇所の特定

ソフト・ハードを含めた対策の検討・実施

- ・主要渋滞箇所図等により、地域の課題を共有することで道路管理者・道路利用者（地域住民、トラック・タクシー事業者等）間での議論を推進
- ・円滑な渋滞対策の立案・実施を実現
（道路管理者が実施する対策、他機関の実施策との連携、道路利用者の参画による対策等）

モニタリング等による検証

- 平成25年1月に公表された主要渋滞箇所(高速道路2箇所、一般道78箇所)について、高速道路は高速道路会社が主体となり、一般道は主要渋滞箇所となっている交差点の主道路の道路管理者が主体となり、継続的な検討を行う体制とする。
- 検討主体は、従道路の道路管理者、県警、沿線自治体等との調整や民間企業等との連携を踏まえた検討結果を渋滞対策協議会に報告する。
- 渋滞対策協議会は、検討主体から報告された検討結果をエリア・区間・箇所ごとに整理し、とりまとめる。

徳島県内 主要渋滞箇所(高速道路:2箇所、一般道:78箇所)^{※1}

高速道路2区間

一般道78箇所^{※1}

検討主体: 高速道路会社

NEXCO西日本
2箇所

国、県警等
関係機関と調整

検討主体: 主要渋滞箇所となっている交差点の主道路の道路管理者

徳島河川国道事務所
41交差点^{※1}

徳島県
42交差点^{※1}

徳島市
1交差点^{※1}

藍住町
1交差点^{※1}

従道路の道路管理者、県警、沿線自治体等との調整

連携

民間企業等

渋滞対策協議会にて検討結果を報告し、エリア・区間・箇所の渋滞要因・対策のとりまとめ

※1 近接する交差点を一つの主要渋滞箇所としてまとめているため、一般道78箇所の主要渋滞箇所には、85交差点が存在する。

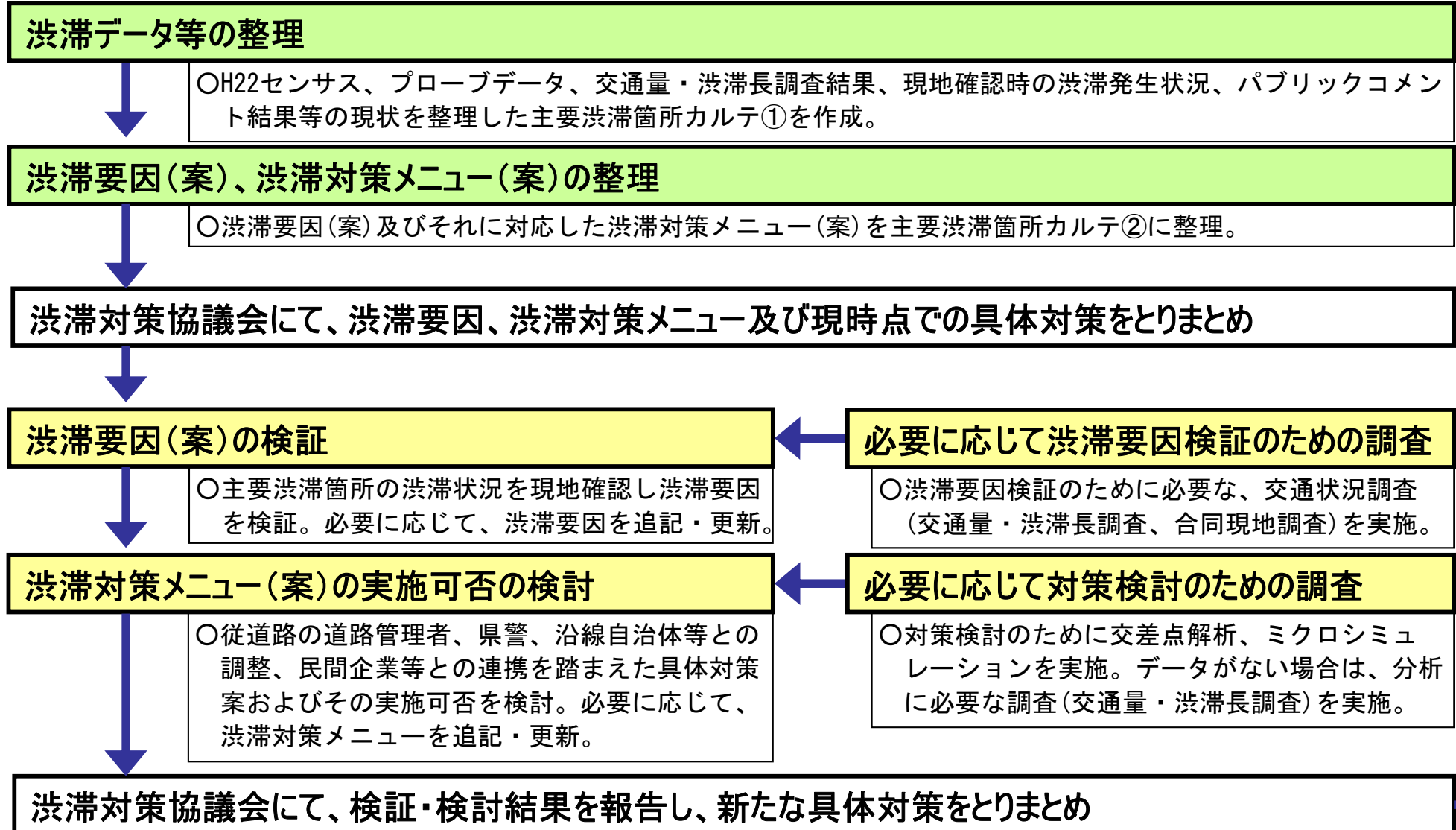
○事務局が主要渋滞箇所別に整理した渋滞要因(案)・渋滞対策メニュー(案)にもとづき、検討主体が主要渋滞箇所の渋滞状況を現地確認し、渋滞要因(案)を検証。また、従道路の道路管理者や県警、沿線自治体等との調整、民間企業等との連携を踏まえた具体対策案およびその実施可否を検討。これらの内容を主要渋滞箇所カルテにて管理・更新。

■ : 事務局が実施、■ : 検討主体が実施

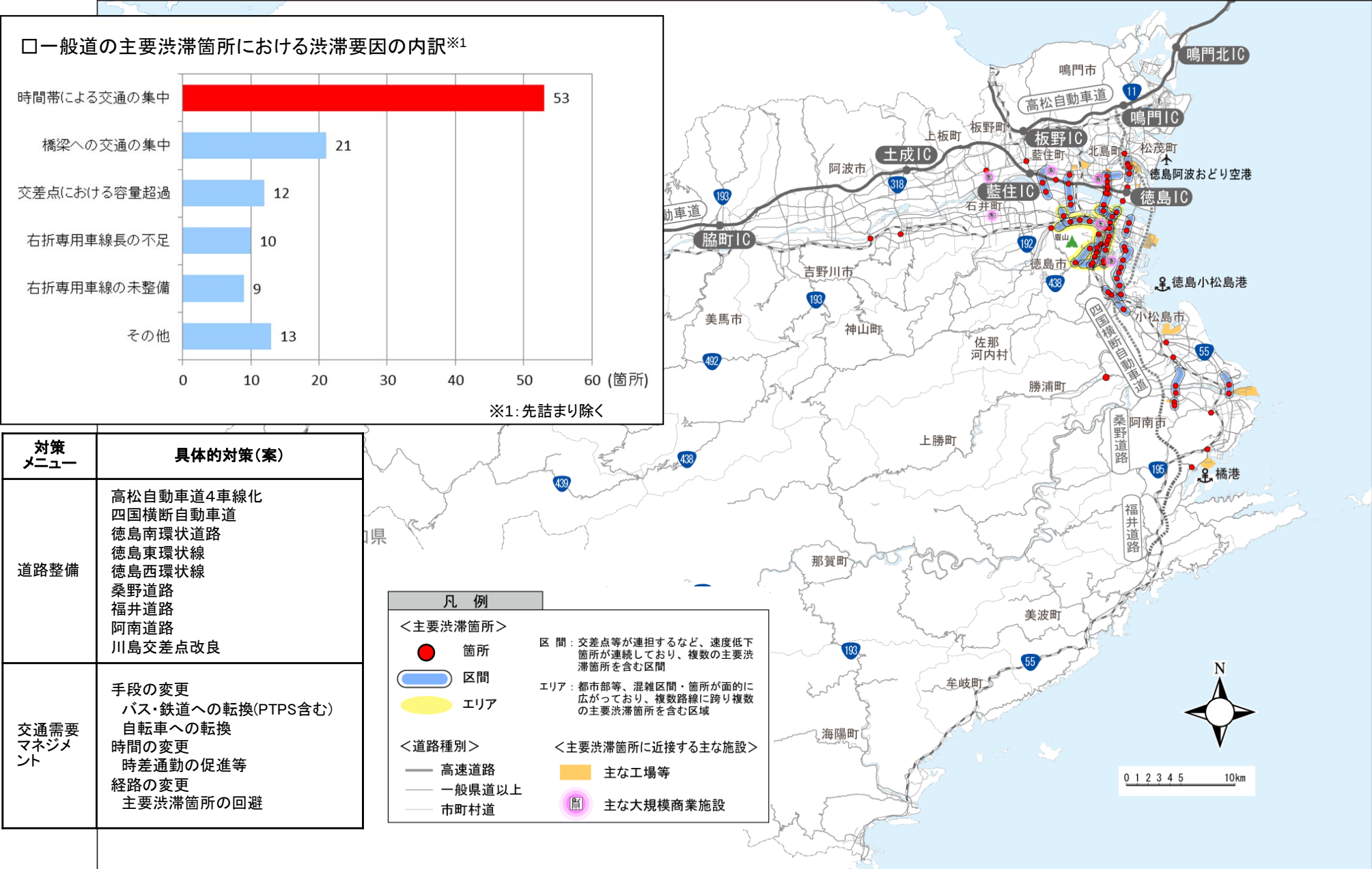
渋滞要因の分析

対策の検討

管理・更新



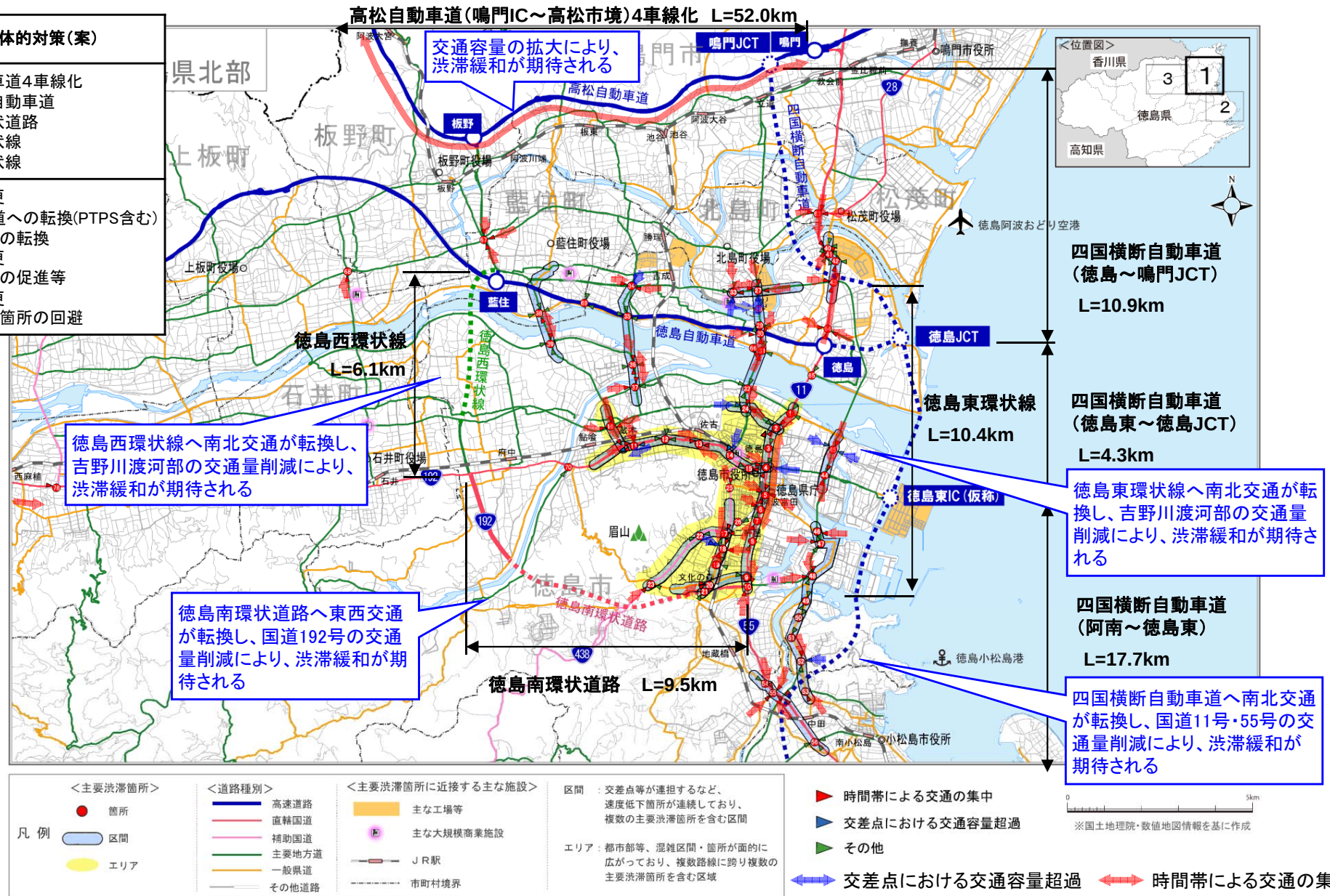
○徳島県は、時間帯による交通の集中が渋滞要因の箇所が多い。
○道路整備に加え、交通手段の変更、時間の変更及び経路の変更等の交通需要マネジメントに取り組んでいく。



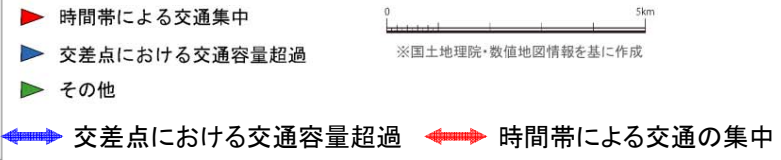
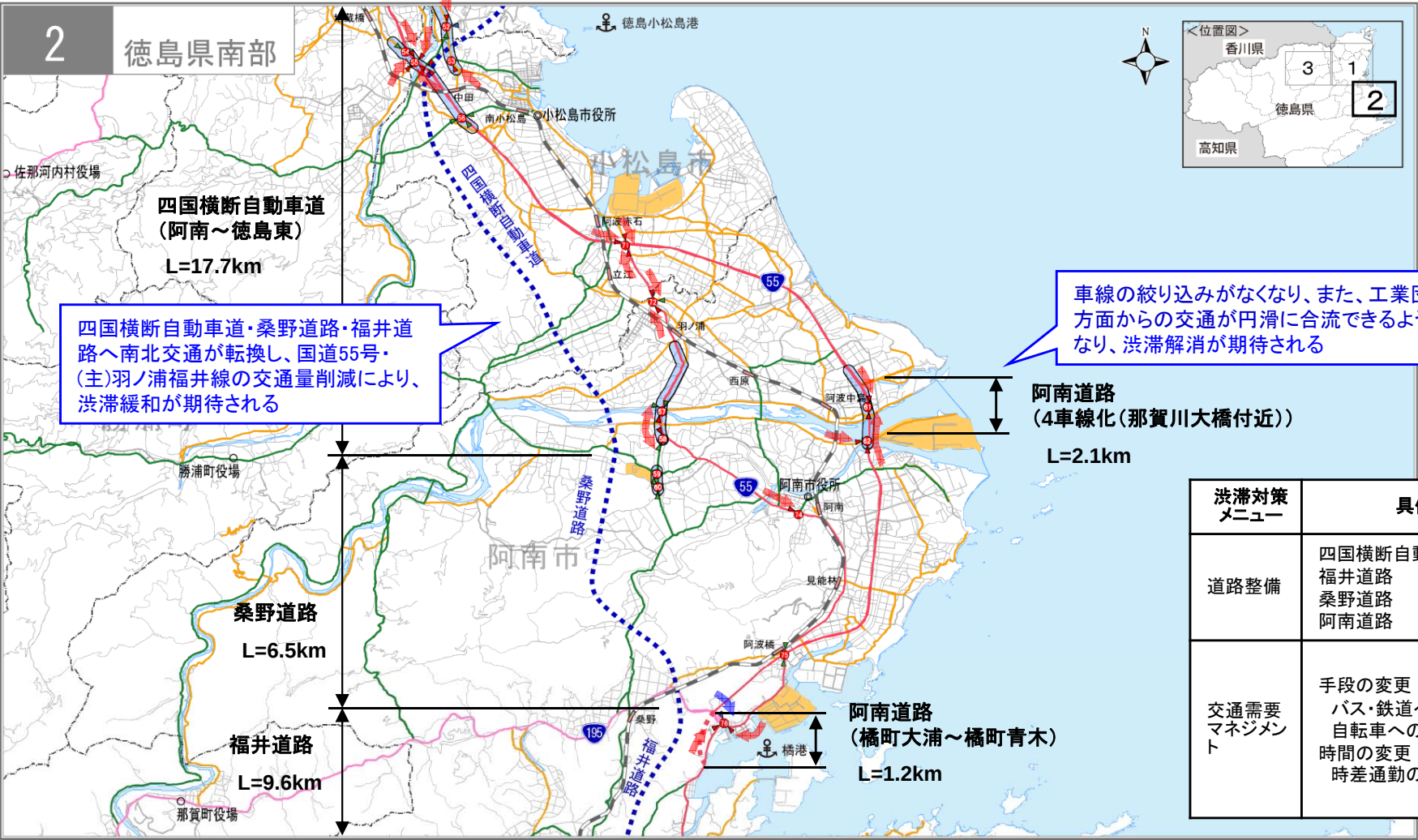
H26年度

○また、徳島市中心部周辺では、交差点における交通容量超過が渋滞要因の箇所が一部みられ、道路整備に加え、交通手段を変更するバス・鉄道への転換及び自転車への転換が効果的である。

渋滞対策メニュー	具体的対策(案)
道路整備	高松自動車道4車線化 四国横断自動車道 徳島南環状道路 徳島東環状線 徳島西環状線
交通需要マネジメント	手段の変更 バス・鉄道への転換(PTPS含む) 自転車への転換 時間の変更 時差通勤の促進等 経路の変更 主要渋滞箇所の回避



○小松島市、阿南市は、時間帯による交通の集中が渋滞要因の箇所が多く、道路整備に加え、交通手段を変更するバス・鉄道への転換及び自転車への転換、時間の変更により交通需要調整を行う時差通勤が効果的である。



○吉野川市は、時間帯による交通の集中が渋滞要因の箇所が多く、道路整備に加え、交通手段を変更するバス・鉄道への転換及び自転車への転換、時間の変更により交通需要調整を行う時差通勤が効果的である。

